

平成25年度 川崎区区民アンケート 概要版

調査の概要

調査の目的	「川崎区区民アンケート」は、区民の意識や区役所サービス等に関する要望を調査することにより、地域の課題を把握し、区民会議における調査審議課題、区政運営及び区の企画立案の参考資料とすることを目的として実施しました。
調査の方法	<ul style="list-style-type: none">・ 調査地域 川崎区全域・ 調査対象 川崎区在住の満18歳以上の男女個人（外国人市民を含む）・ 標本抽出 住民基本台帳からの層化二段無作為抽出・ 標本数 2,000標本・ 調査方法 郵送配布—郵送回収法・ 調査期間 平成26年3月18日（火）～平成26年3月31日（月）
調査項目	<ul style="list-style-type: none">・ 住みやすさについて・ 川崎区役所の広報について・ 川崎区役所が行っている事業の要望について・ 今後の防災、災害対策について・ 新たな総合計画の策定について・ 市民利用施設について・ 川崎区区民会議について・ 市民活動及び地域活動への参加について
回収状況	<ul style="list-style-type: none">・ 有効回収数 908標本・ 有効回収率 45.4%

※基数となるべき実数（n）は、各設問に対する回答者数です。

※百分率（%）の計算は、小数第2位以下を四捨五入しているため、数値の合計が100%にならない場合があります。

※複数回答の設問においては、%の合計が100%を超える場合があります。

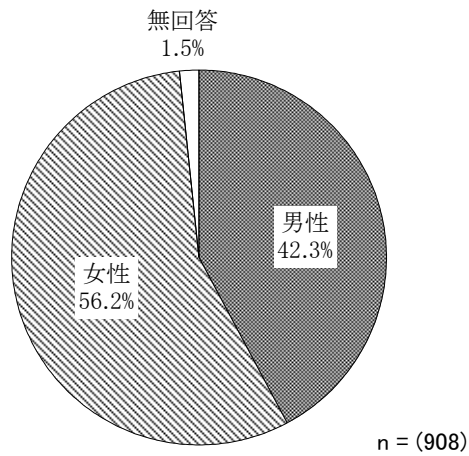
※表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。

目 次

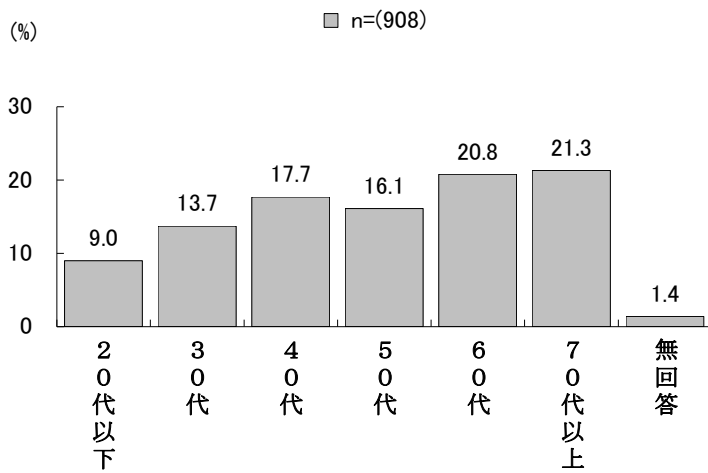
I	回答者の属性	1
II	各質問項目の要約	3
1	住みやすさについて	3
2	川崎区役所の広報について	4
3	川崎区役所が行っている事業の要望について	5
4	今後の防災、災害対策について	6
5	新たな総合計画の策定について	7
6	市民利用施設について	7
7	川崎区区民会議について	8
8	市民活動及び地域活動への参加について	9

I 回答者の属性

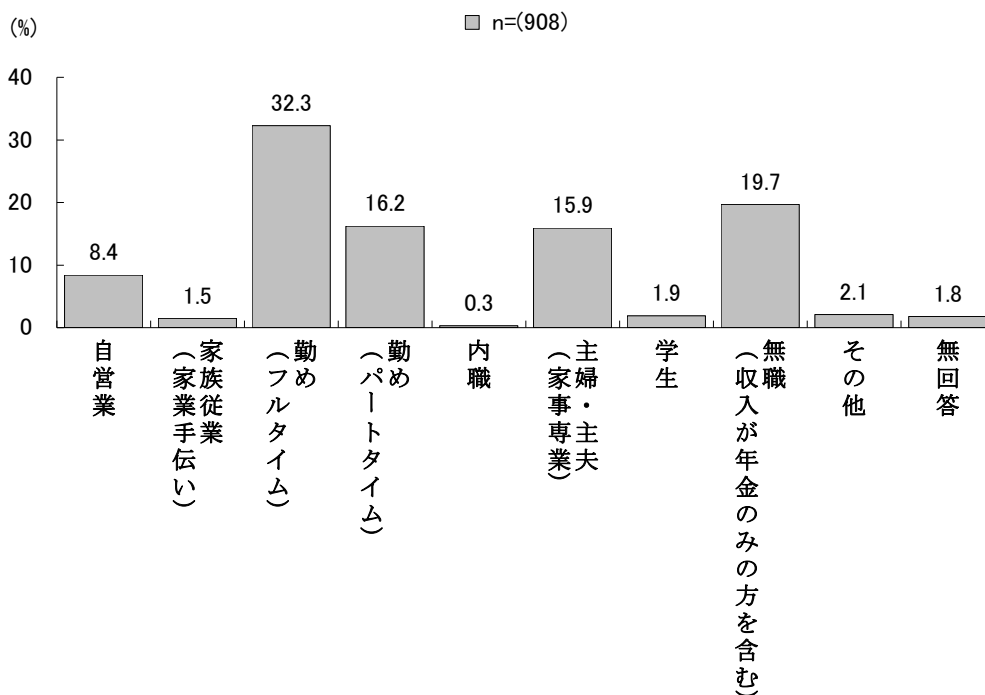
(1) 性別



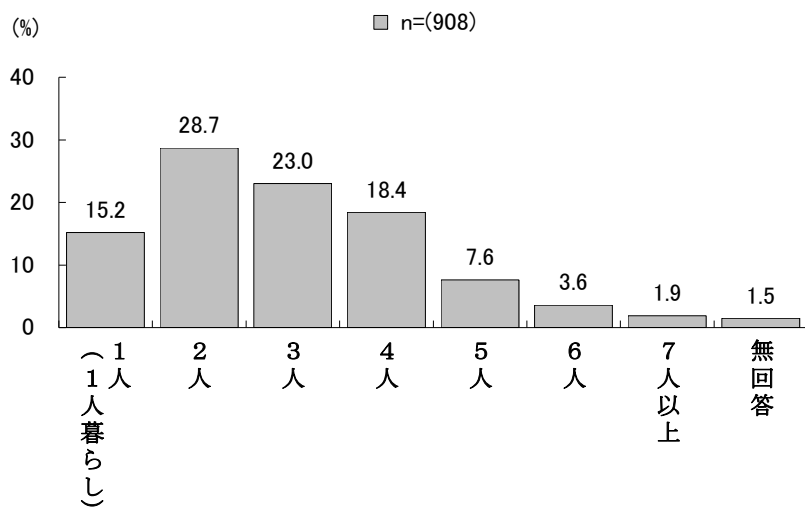
(2) 年齢



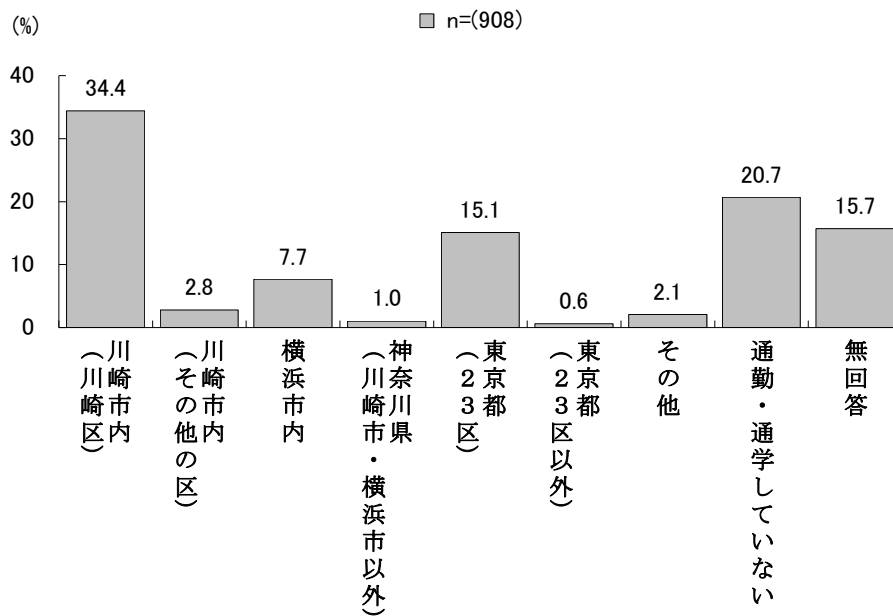
(3) 職業



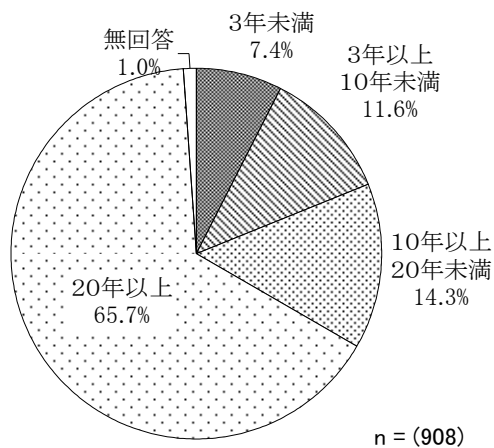
(4) 同居人数



(5) 勤務先・通学先



(6) 居住年数

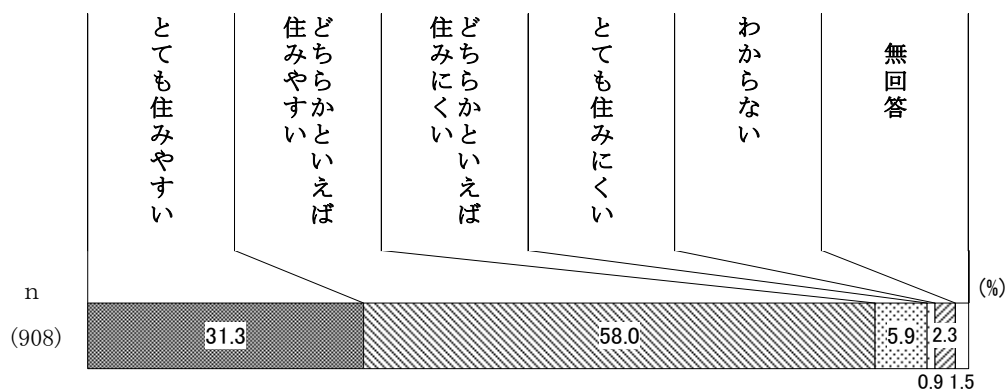


II 各質問項目の要約

1 住みやすさについて

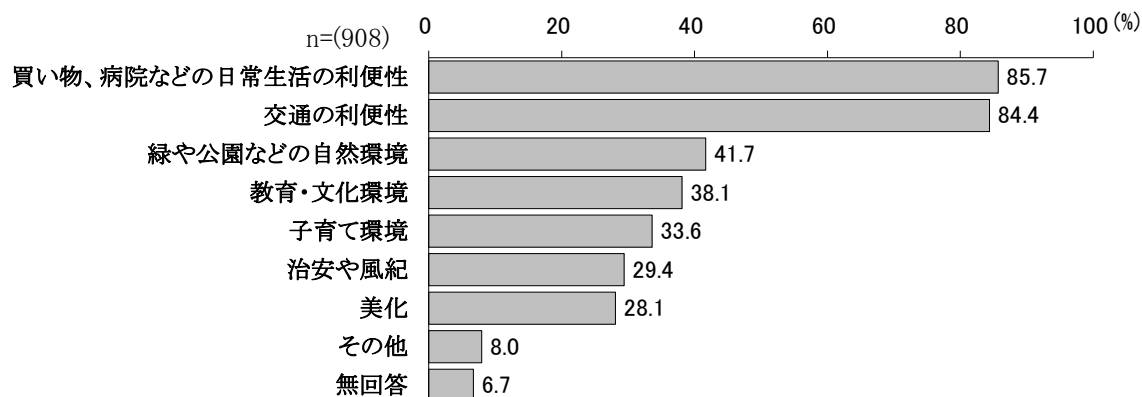
(1) 川崎区の住みやすさ

「どちらかといえば住みやすい」(58.0%)が最も高く、次いで「とても住みやすい」(31.3%)と続いている。



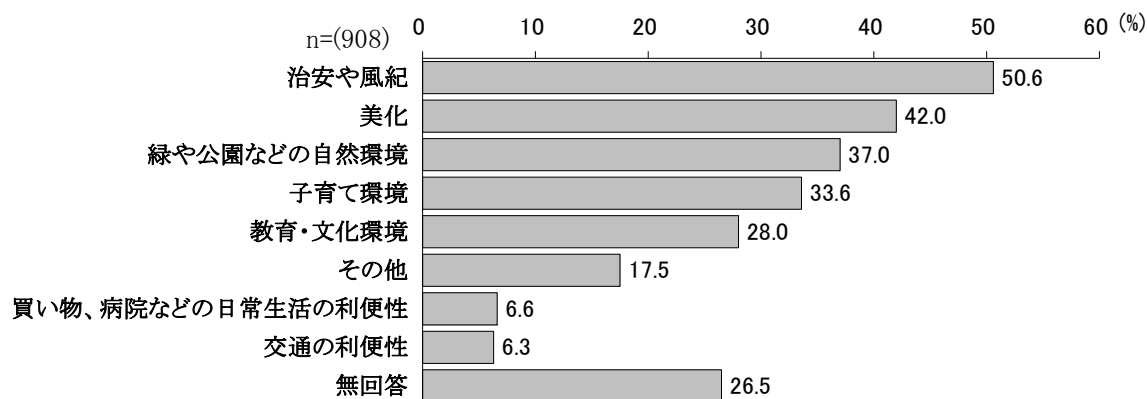
(2) 川崎区について良いと思うもの

「買い物、病院などの日常生活の利便性」(85.7%)が最も高く、次いで「交通の利便性」(84.4%)、「緑や公園などの自然環境」(41.7%)と続いている。



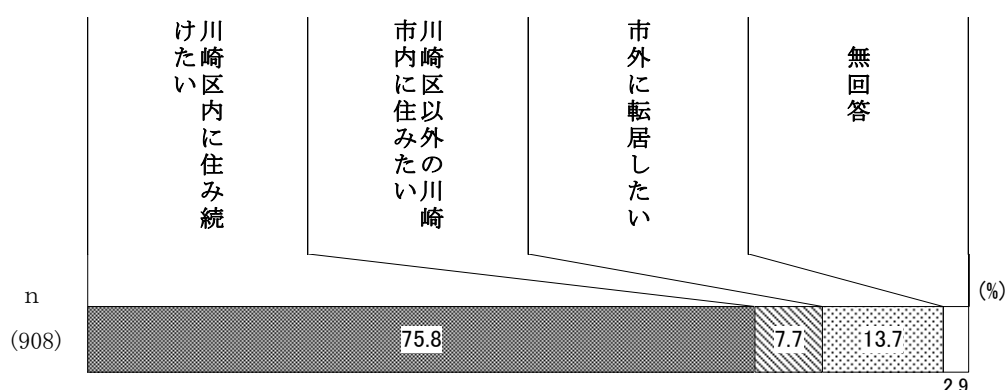
(3) 川崎区について良くないと思うもの

「治安や風紀」(50.6%)が最も高く、次いで「美化」(42.0%)、「緑や公園などの自然環境」(37.0%)と続いている。



(4) 今後の定住意向

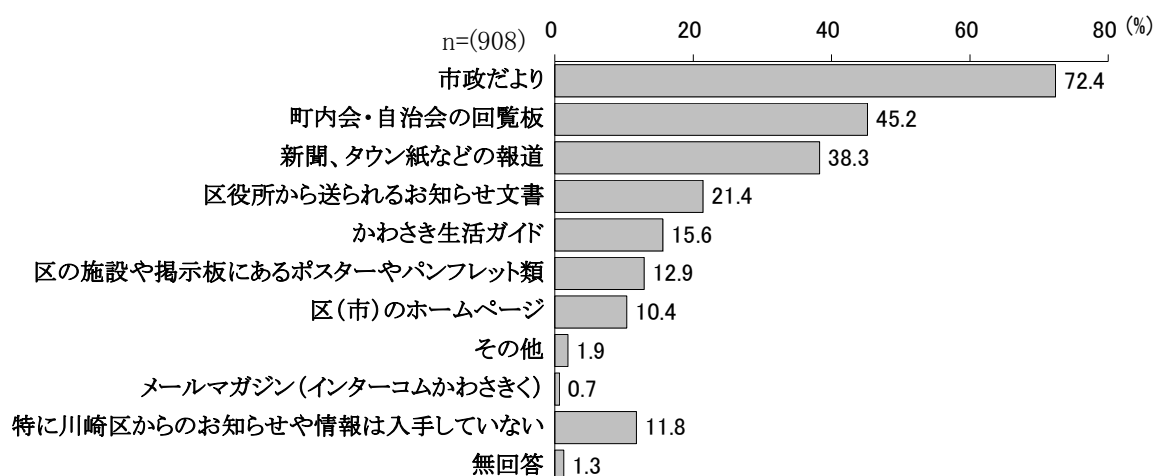
「川崎区内に住み続けたい」(75.8%)が最も高く、次いで「市外に転居したい」(13.7%)と続いている。



2 川崎区役所の広報について

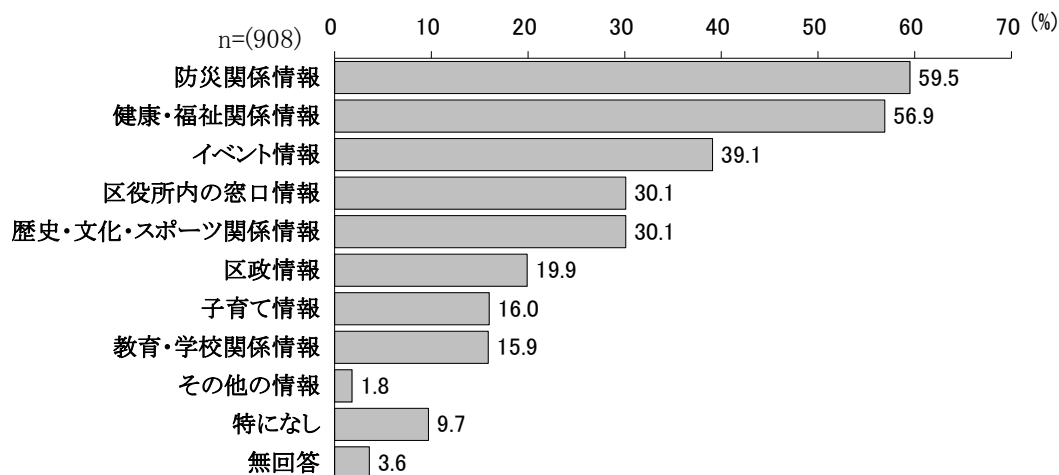
(1) 川崎区からの情報の入手手段

「市政だより」(72.4%)が最も高く、次いで「町内会・自治会の回覧板」(45.2%)、「新聞、タウン紙などの報道」(38.3%)と続いている。



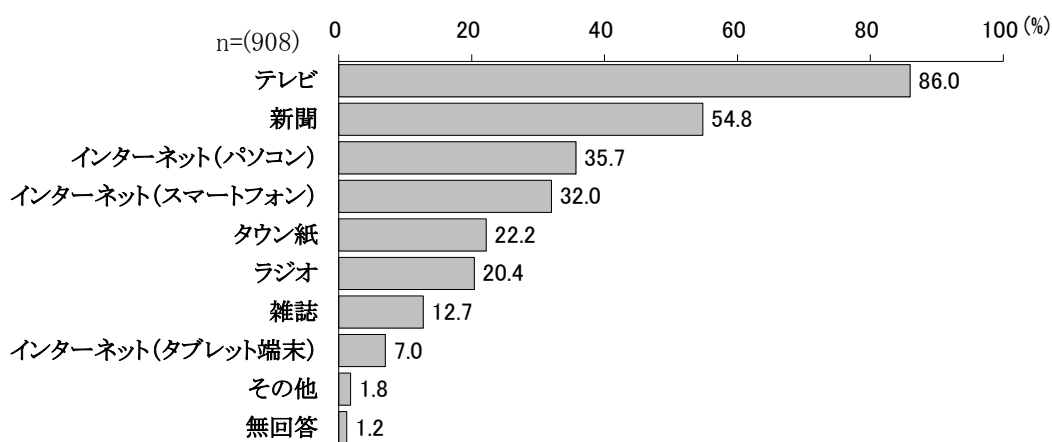
(2) 「市政だより」について充実してほしい情報

「防災関係情報」(59.5%)が最も高く、次いで「健康・福祉関係情報」(56.9%)、「イベント情報」(39.1%)と続いている。



(3) 日常生活で情報を得るために利用する媒体

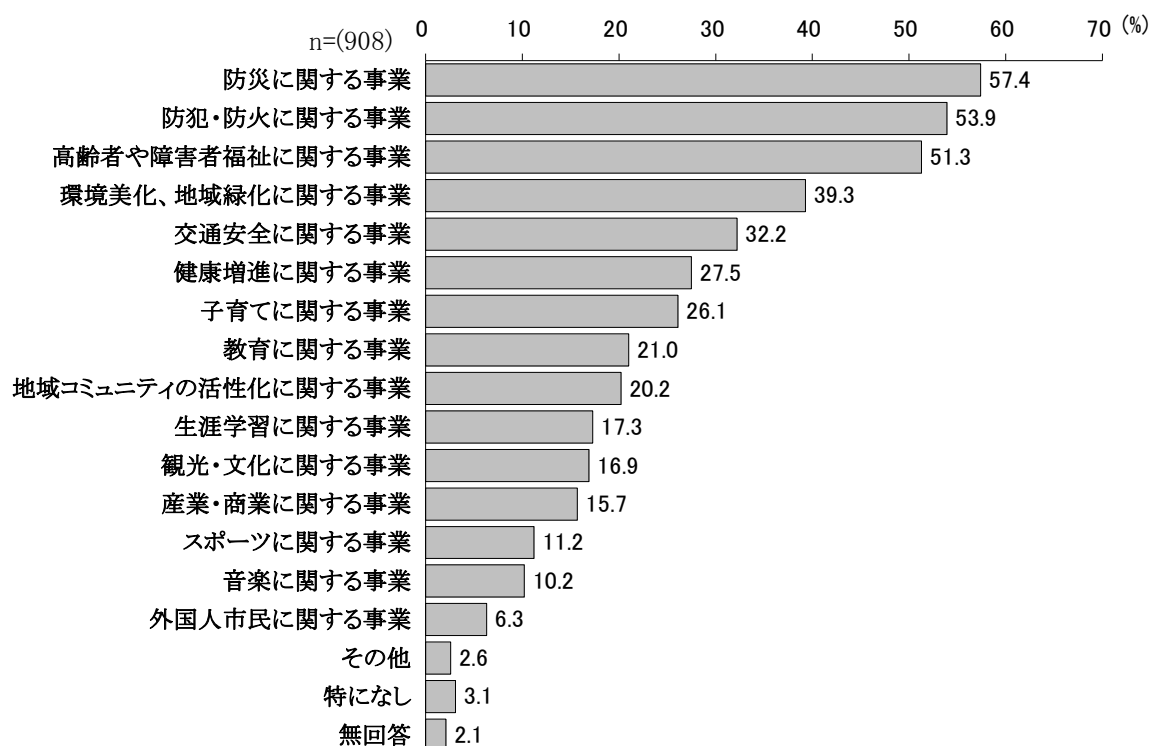
「テレビ」(86.0%)が最も高く、次いで「新聞」(54.8%)、「インターネット(パソコン)」(35.7%)と続いている。



3 川崎区役所が行っている事業の要望について

(1) 今後、特に力を入れてほしい事業

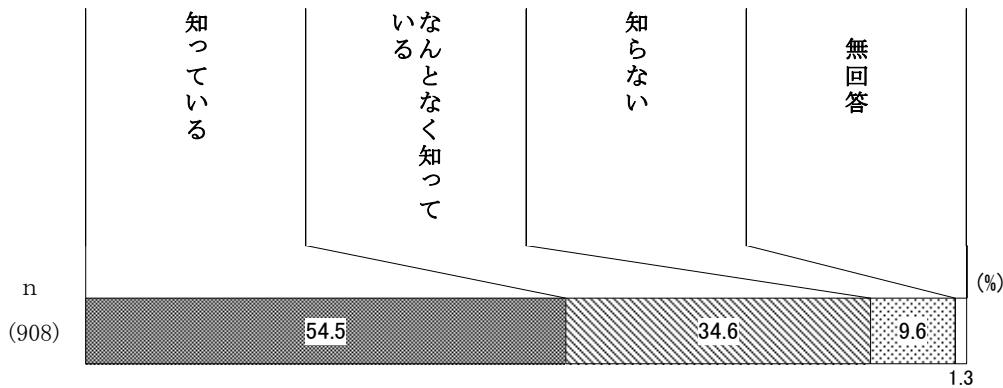
「防災に関する事業」(57.4%)が最も高く、次いで「防犯・防火に関する事業」(53.9%)、「高齢者や障害者福祉に関する事業」(51.3%)と続いている。



4 今後の防災、災害対策について

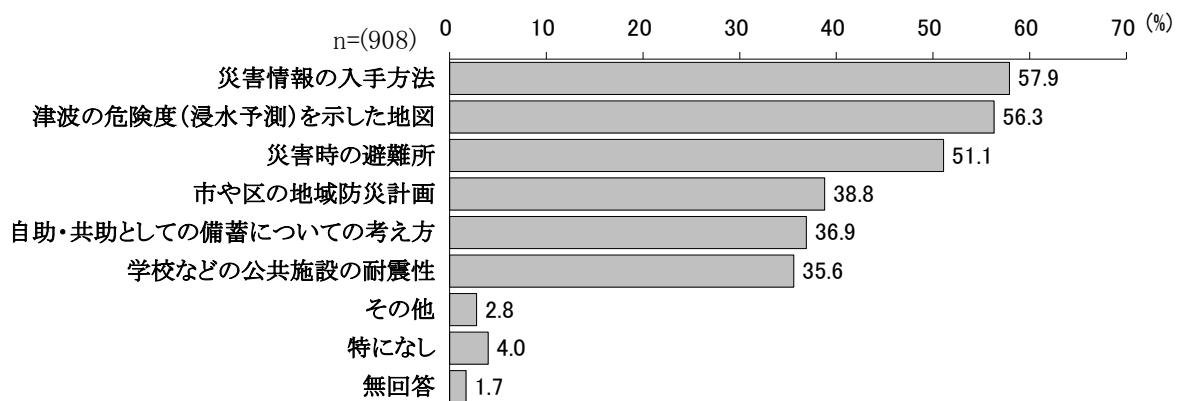
(1) 災害時の避難場所の認知度

「知っている」(54.5%)が最も高く、次いで「なんとなく知っている」(34.6%)と続いている。



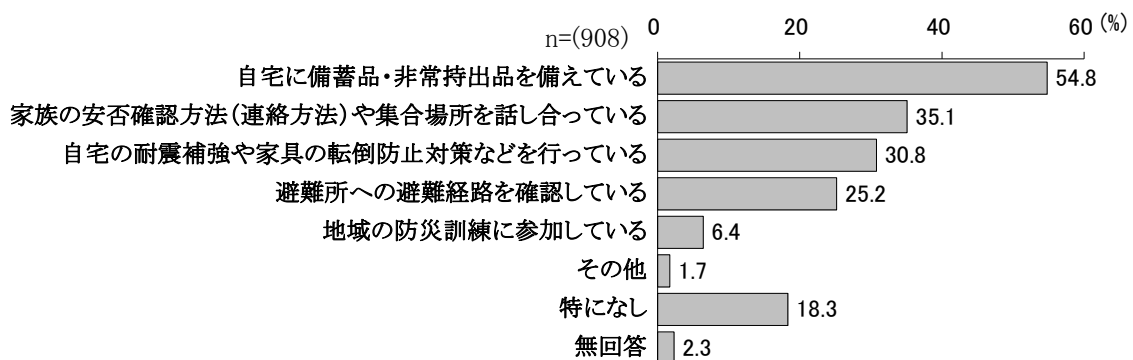
(2) 災害対策に関して知りたい情報

「災害情報の入手方法」(57.9%)が最も高く、次いで「津波の危険度(浸水予測)を示した地図」(56.3%)、「災害時の避難所」(51.1%)と続いている。



(3) 自分や家族を災害から守るために心がけていること

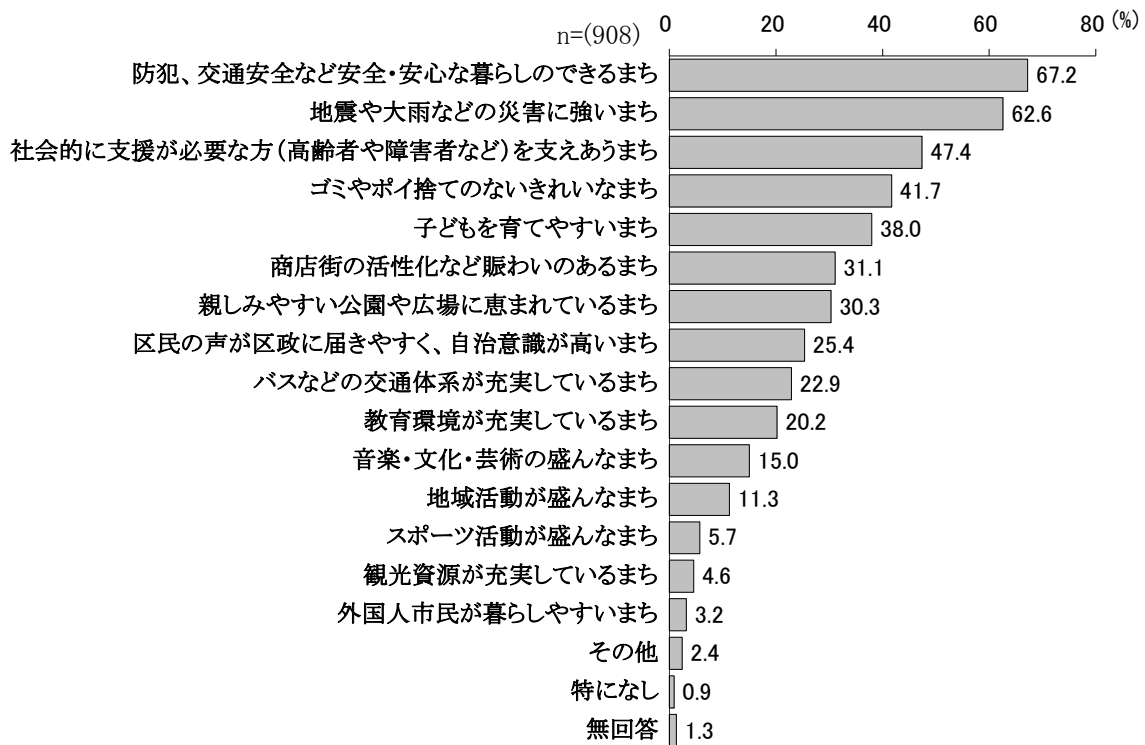
「自宅に備蓄品・非常持出品を備えている」(54.8%)が最も高く、次いで「家族の安否確認方法(連絡方法)や集合場所を話し合っている」(35.1%)、「自宅の耐震補強や家具の転倒防止対策などを行っている」(30.8%)と続いている。



5 新たな総合計画の策定について

(1) 「10年後の川崎区」について、めざすべき方向

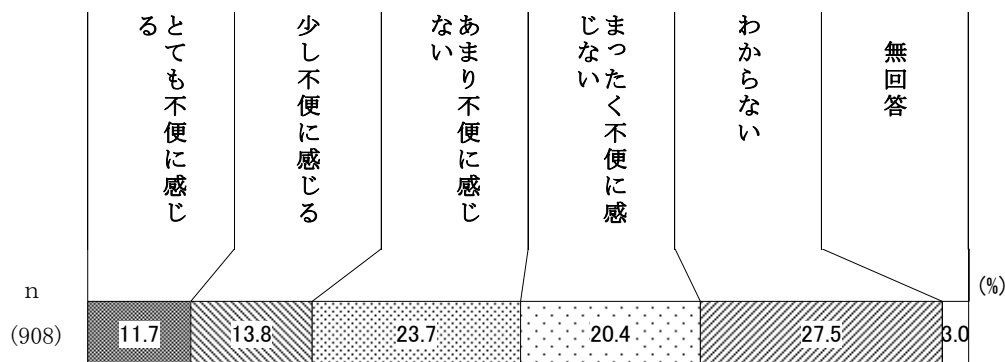
「防犯、交通安全など安全・安心な暮らしのできるまち」(67.2%)が最も高く、次いで「地震や大雨などの災害に強いまち」(62.6%)、「社会的に支援が必要な方(高齢者や障害者など)を支えあうまち」(47.4%)と続いている。



6 市民利用施設について

(1) 区内のJR南部支線より横浜市側の地域(小田、京町、浅田)に市民館や図書館がないことの不便性

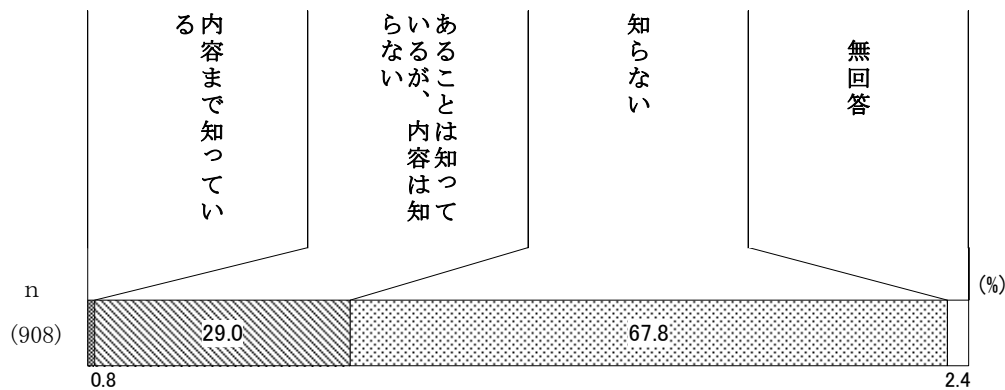
「あまり不便に感じない」(23.7%)、「まったく不便に感じない」(20.4%)、「少し不便を感じる」(13.8%)と続いている。一方、「わからない」は27.5%と最も高くなっている。



7 川崎区区民会議について

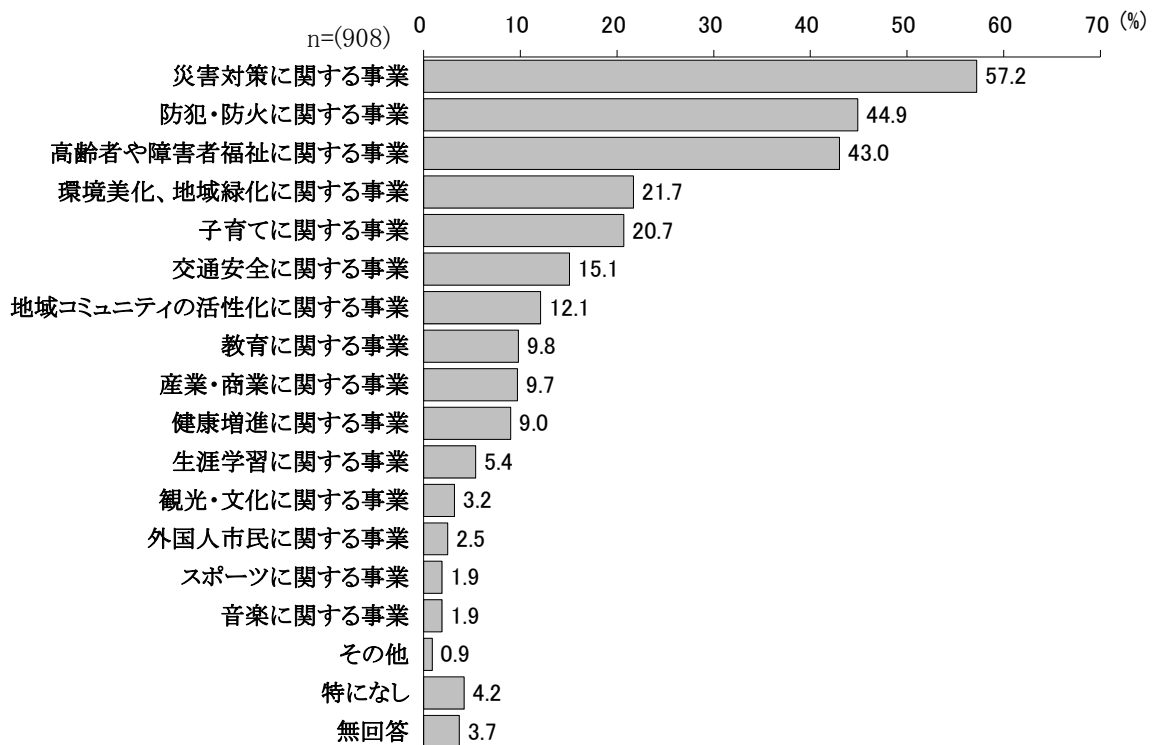
(1) 区民会議の認知度

「知らない」(67.8%)が最も高く、次いで「あることは知っているが、内容は知らない」(29.0%)と続いている。



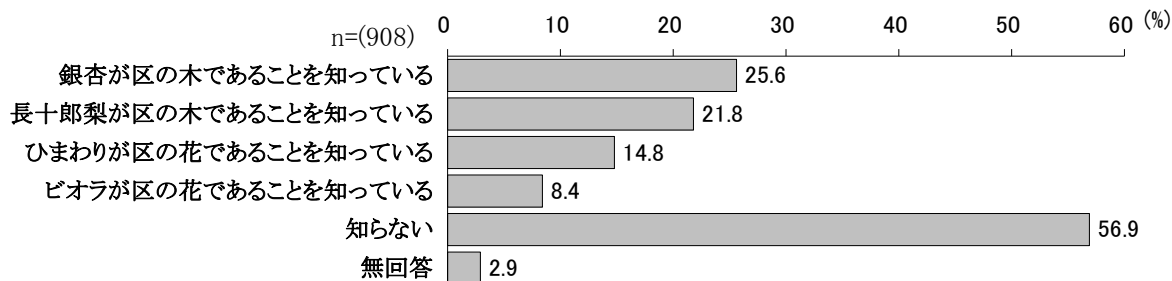
(2) 区民会議の議題として望ましいもの

「災害対策に関する事業」(57.2%)が最も高く、次いで「防犯・防火に関する事業」(44.9%)、「高齢者や障害者福祉に関する事業」(43.0%)と続いている。



(3) 区の花・木の認知度

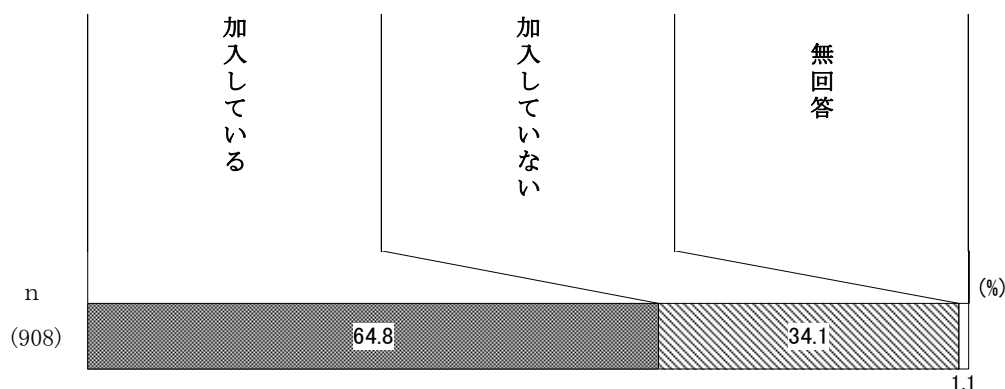
「^{いちょう}銀杏が区の木であることを知っている」(25.6%)、「^{ちょうじゅうろうなし}長十郎梨が区の木であることを知っている」(21.8%)と続いている。一方、「知らない」は56.9%と最も高くなっている。



8 市民活動及び地域活動への参加について

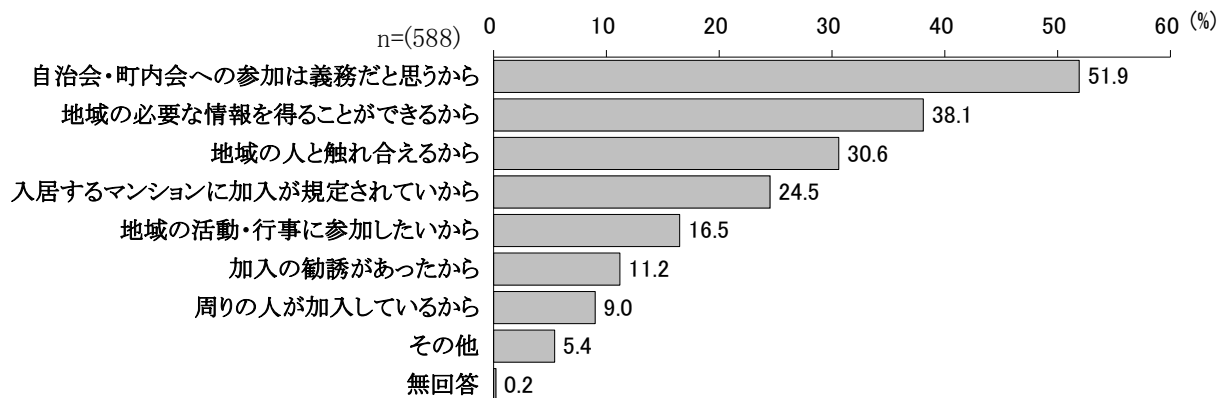
(1) 町内会・自治会への加入状況

「加入している」(64.8%)が最も高く、次いで「加入していない」(34.1%)と続いている。



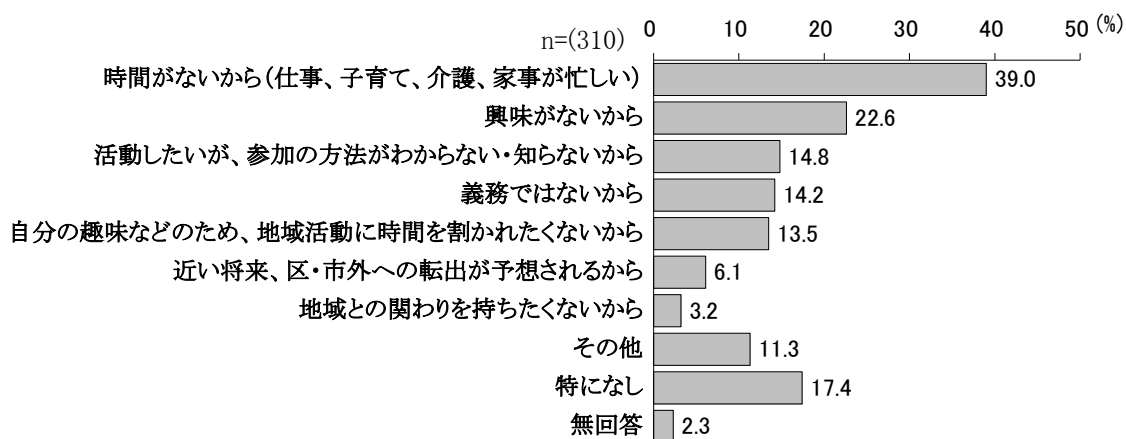
(2) 町内会・自治会に加入した理由

「自治会・町内会への参加は義務だと思うから」(51.9%)が最も高く、次いで「地域の必要な情報を得ることができるから」(38.1%)、「地域の人と触れ合えるから」(30.6%)と続いている。



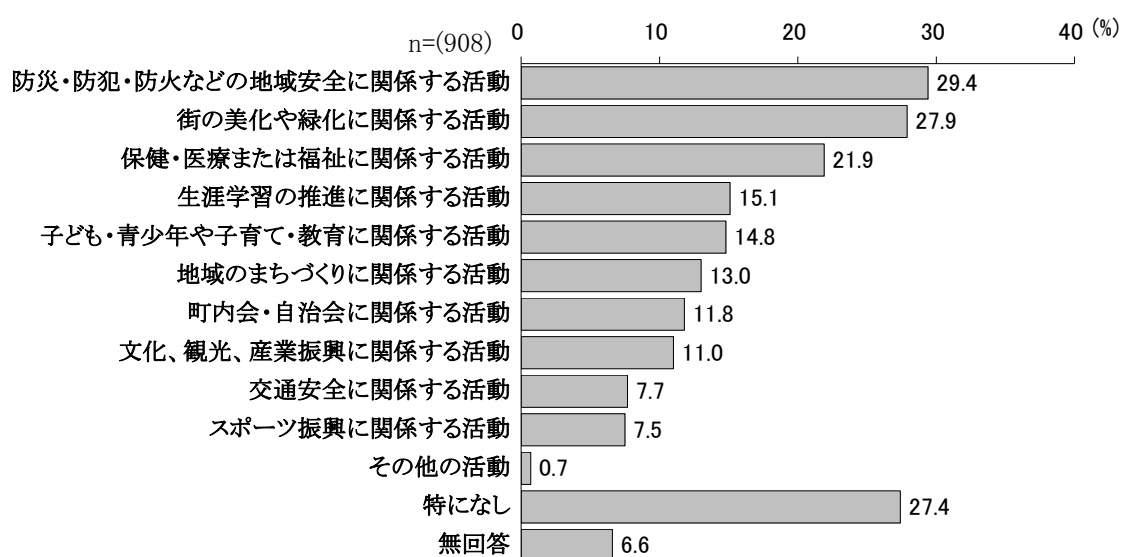
(3) 町内会・自治会などの活動を行っていない理由

「時間がないから（仕事、子育て、介護、家事が忙しい）」（39.0%）が最も高く、次いで「興味がないから」（22.6%）、「活動したいが、参加の方法がわからない・知らないから」（14.8%）と続いている。



(4) 参加してみたいと思う地域活動の分野

「防災・防犯・防火などの地域安全に関する活動」（29.4%）が最も高く、次いで「街の美化や緑化に関する活動」（27.9%）、「保健・医療または福祉に関する活動」（21.9%）と続いている。一方、「特になし」は27.4%となっている。





平成25年度 川崎区区民アンケート <概要版>

平成26年3月

発行 川崎区役所企画課

〒210-8570 川崎市川崎区東田町8番地

TEL 044-201-3267 (直通)

FAX 044-201-3209